



2024年9月期第1四半期 決算説明資料

株式会社グローバルキッズCOMPANY 2024年1月31日

将来見通し等に関する注意事項

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。

かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

当社が事業環境の説明を行う上で、参考となると考える情報を掲載しております。掲載データについては、調査方法や調査時期により結果が異なる可能性があります。本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

※本資料の著作権は株式会社グローバルキッズCOMPANYに属し、その目的を問わず無断で複製、引用することを禁じます。



2024年9月期第1四半期 決算の概要	4
2024年9月期 業績見通し	15
付属資料	17

2024年9月期第1四半期ハイライト

2024年9月期 第1四半期業績

- おはようキッズの完全子会社化により増収
 - 売上高 6,564百万円(前年同期比+8.0%)
- ICT関連費用の戦略的な積み増しを行うも、売上増加に加え採用費削減も寄与し、EBITDAは3四半期連続で増加、前年同期比でも増益
 - EBITDA 387百万円(前年同期比+6.4%、前四半期比+10.6%)

2024年9月期 通期業績予想

- 第1四半期は、売上高、EBITDA、何れも計画を上回るペースで進捗。第2四半期の採用費抑制、第3四半期の入所率及び職員配置が今期業績に大きく影響するため、通期業績及び配当予想は据え置き
 - 売上高 26,000百万円(前期比+3.4%)
 - EBITDA 1,300百万円(前期比+13.0%)
 - 配当 1株当たり30円(前期と同額)

TOPICS

- Eis International Pre-School と連携して「グローバルキッズ南長崎園」を国際ナショナルプレスクールとして2024年4月にリニューアルオープン
- 安全で環境にもやさしい「秋田県特別栽培米」の栽培を通して日本の稲作文化を学ぶ「食農教育コンテンツ」の販売を開始

2024年9月期第1四半期 決算の概要



2024年9月期第1四半期 業績概要

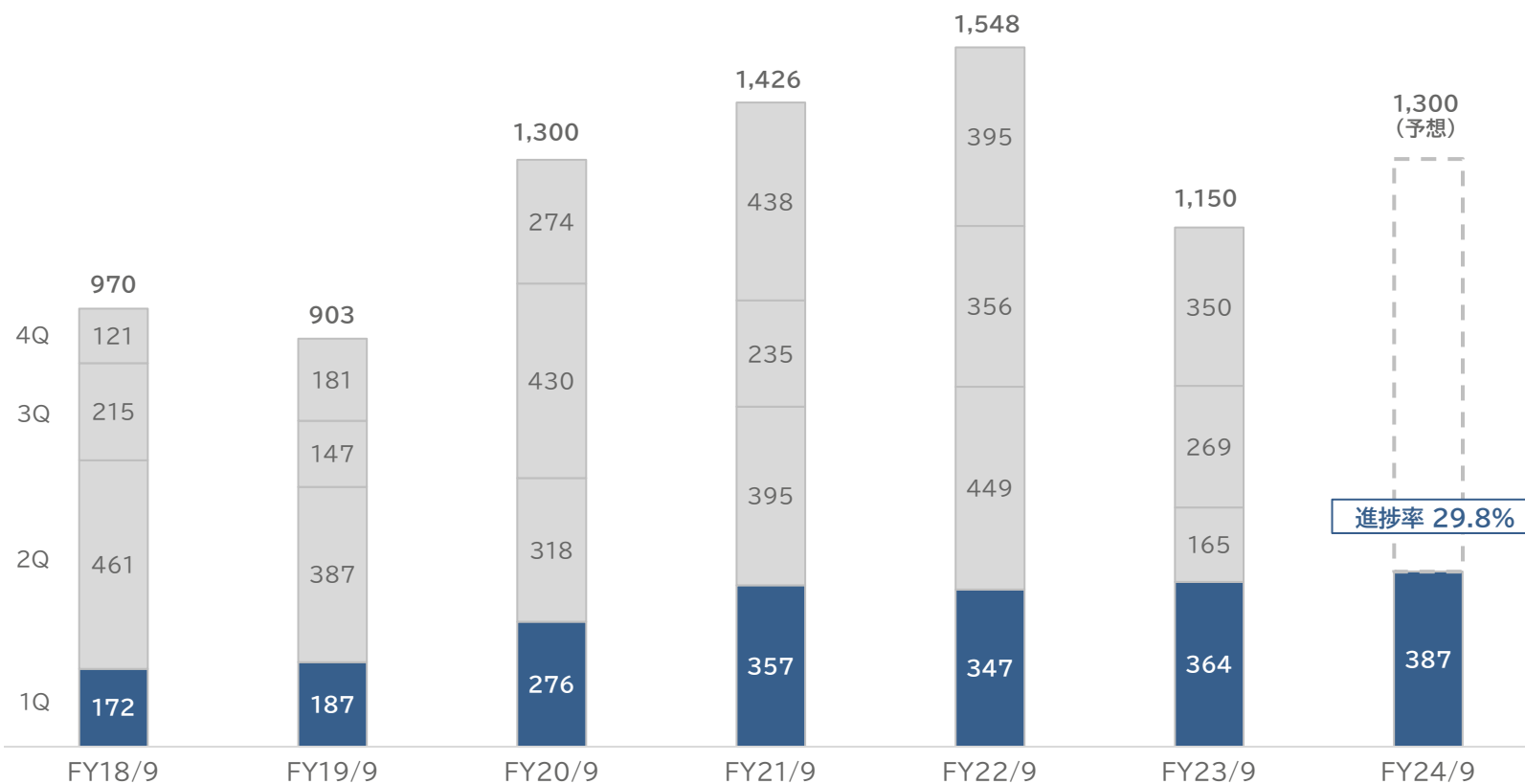
2024年9月期第1四半期 連結業績概要(百万円)

	FY2023/9 1Q	対売上高	FY2024/9 1Q	対売上高	前期比
売上高	6,080	-	6,564	-	+8.0%
売上総利益	574	9.4%	630	9.6%	+9.7%
EBITDA	364	6.0%	387	5.9%	+6.4%
営業利益	177	2.9%	183	2.8%	+3.5%
経常利益	178	2.9%	181	2.8%	+1.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	118	2.0%	112	1.7%	-5.1%

EBITDA

第1四半期のEBITDAは、3四半期連続で増加し、前年同期比+6.4%。
第1四半期としては過去最高を更新。今期予想に対する進捗率は29.8%。

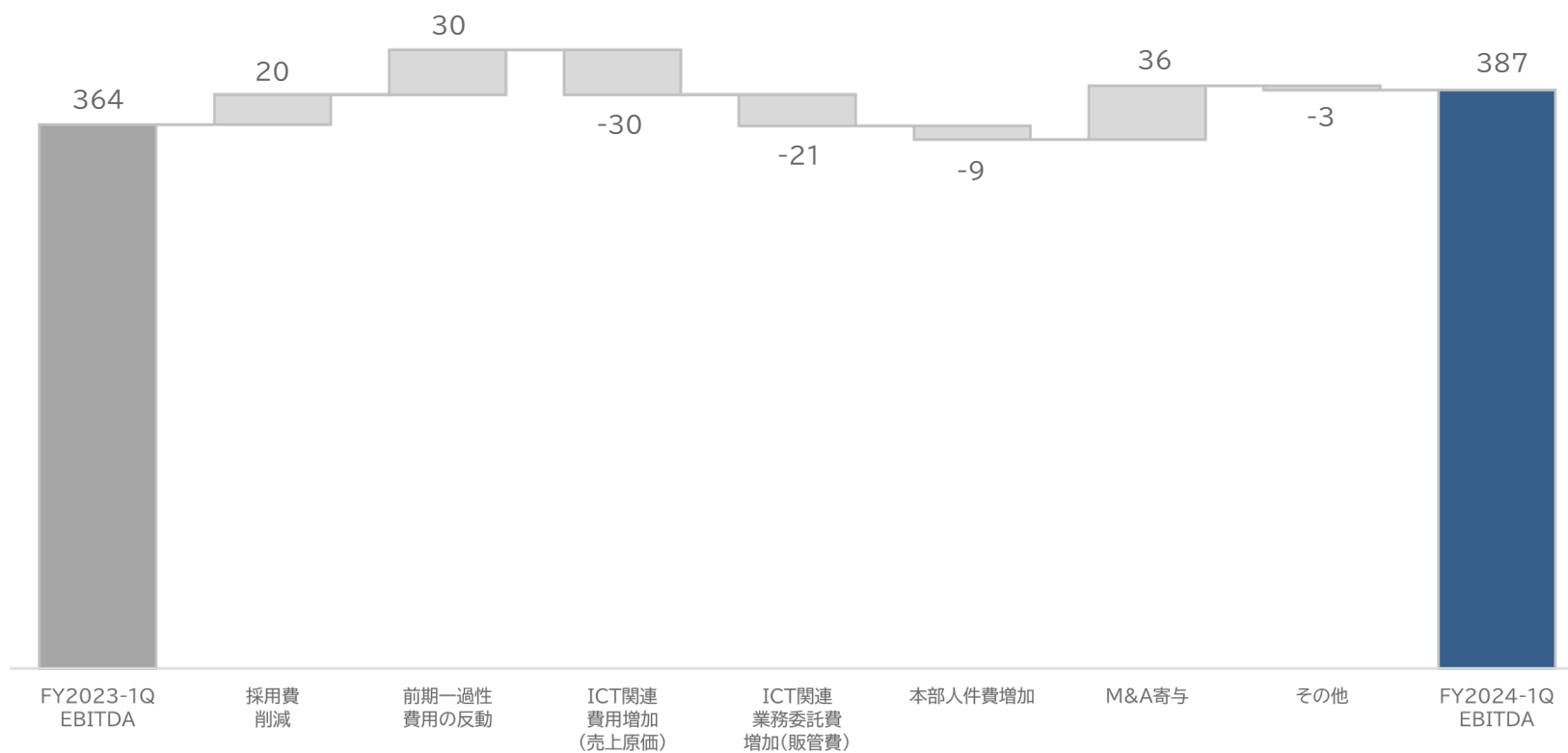
EBITDA(百万円)



EBITDA変動要因

採用費削減、前年同期に計上した一過性費用の反動、おはようキッズの完全子会社化が増益に寄与。ICT関連費用は戦略的に積み増し、売上原価及び販管費合計で約51百万円増加。

EBITDA変動要因(百万円)



売上高：保育事業施設数

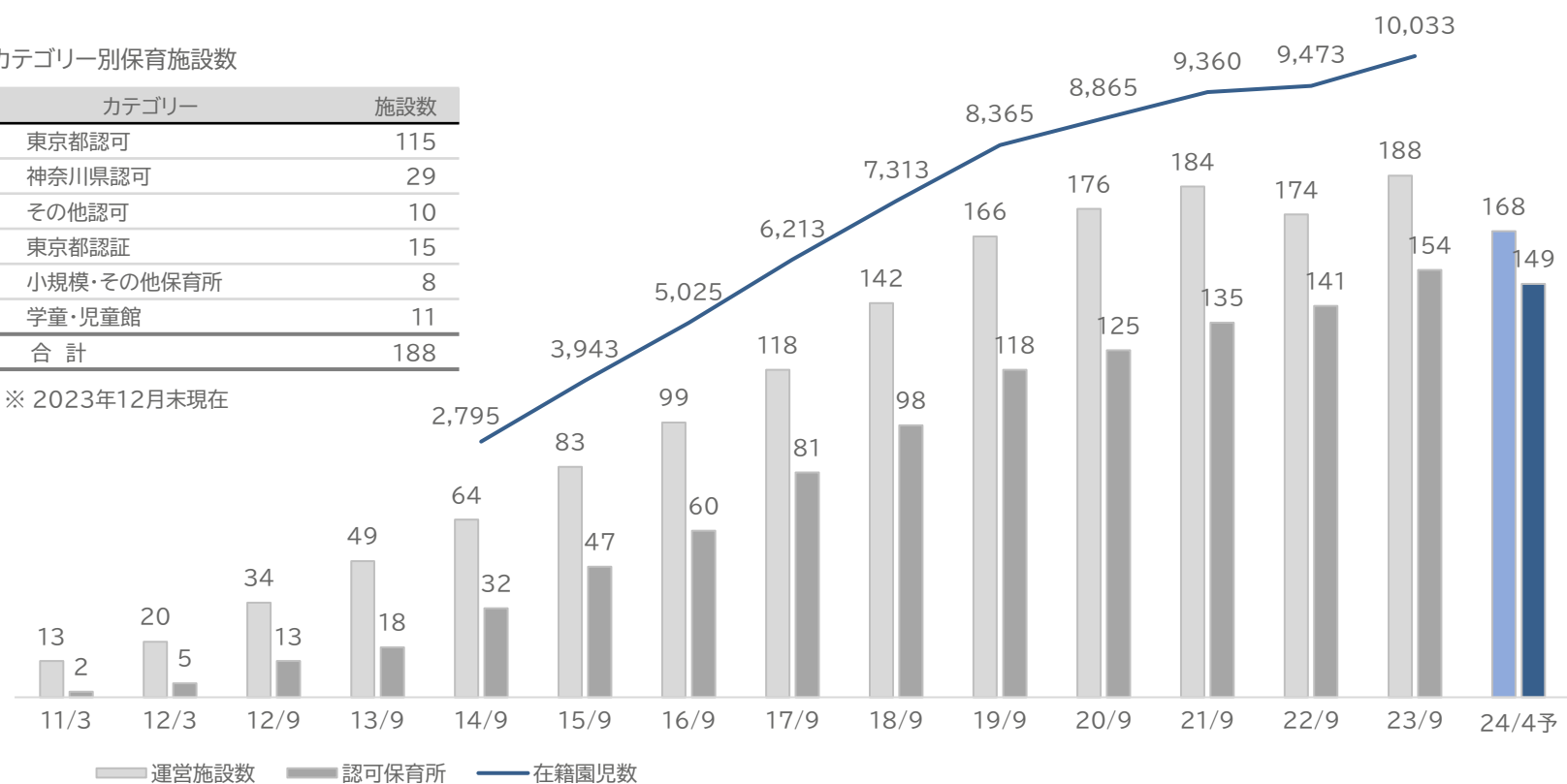
2024年3月末をもって保育施設20施設を譲渡・閉鎖、学童1施設の受託を終了。一方、学童1施設を新規受託予定。運営施設に占める認可施設の比率は、88.7%に上昇(2023/9末 81.9%)。

施設数、園児数推移

カテゴリ別保育施設数

カテゴリ	施設数
東京都認可	115
神奈川県認可	29
その他認可	10
東京都認証	15
小規模・その他保育所	8
学童・児童館	11
合計	188

※ 2023年12月末現在

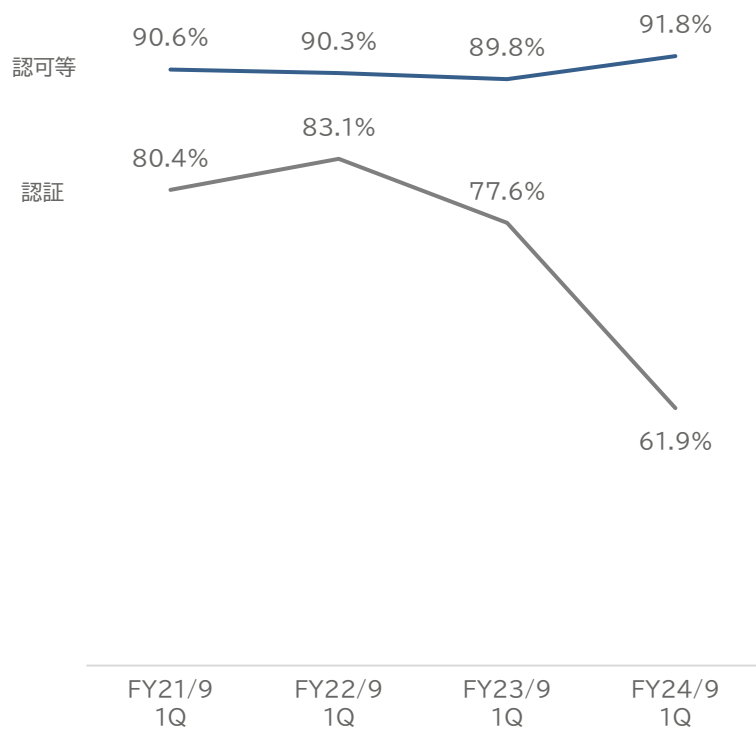


注：施設数は、保育所、学童・児童館の合計。在籍園児数は、保育所のみ

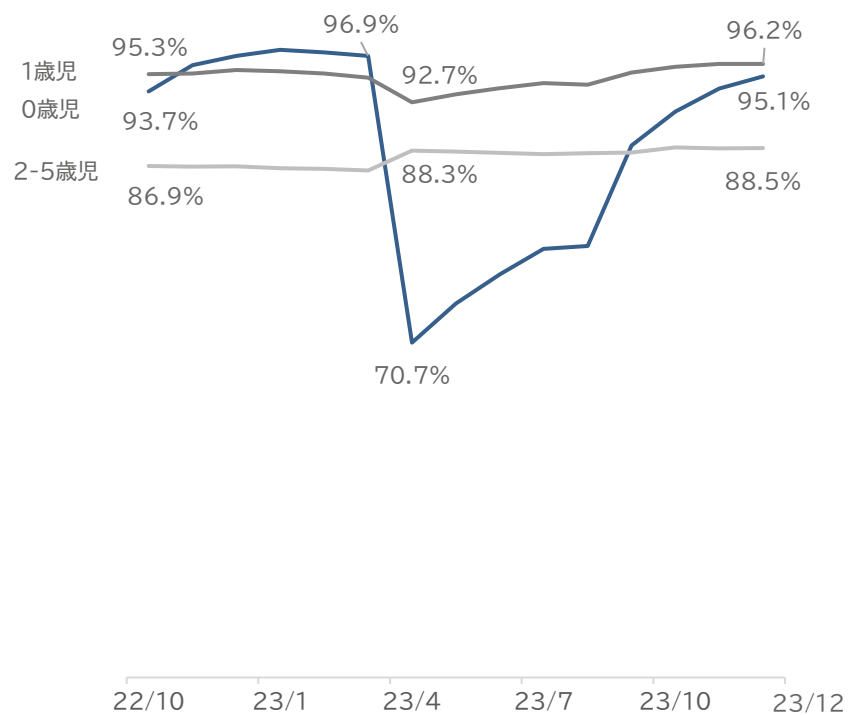
売上高：入所率

認可等保育施設は、利用定員見直しの効果もあり前年同月比2.0pt改善する一方、認証保育施設は大きく低下。
歳児別では、4月に低下した0歳児の入所率が順調に回復。

保育所種類別



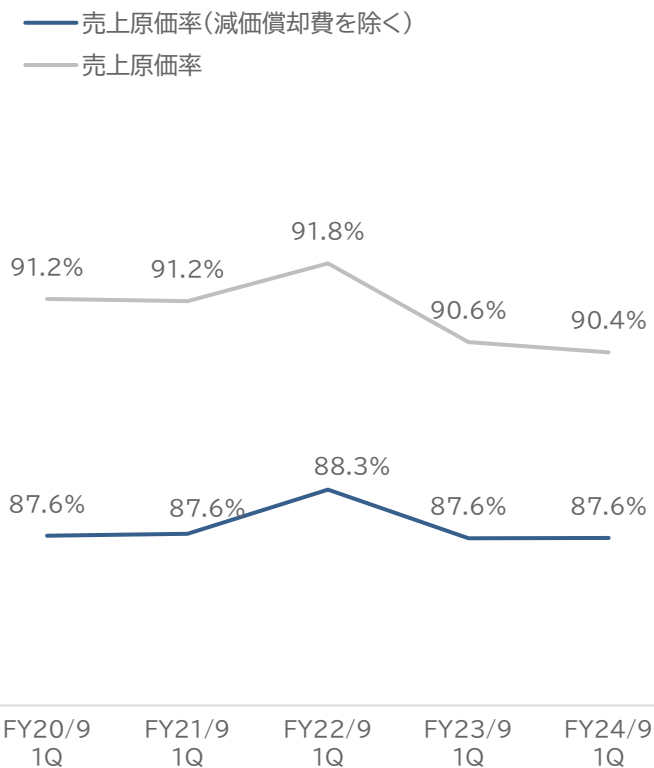
歳児別



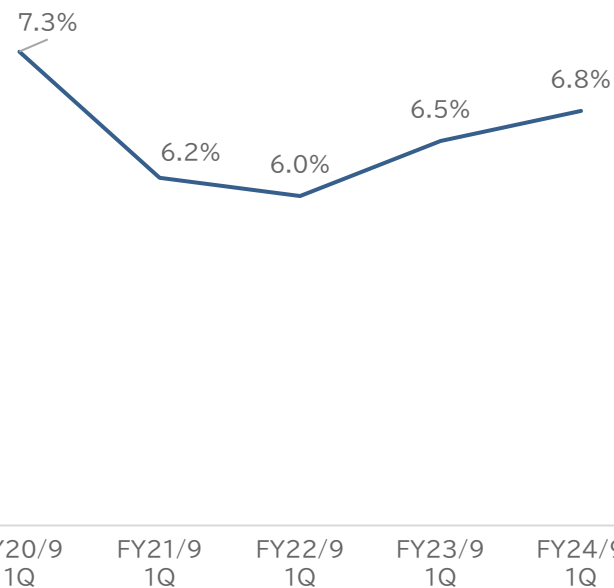
売上原価率・販売管理費率

採用費が減少する一方、ICT関連費用が増加し売上原価率(減価償却費を除く)は前年同期比横ばい。
販売管理費率はICT関連費用及び本社人件費の増加を主因に上昇。

売上原価率



販売管理費率



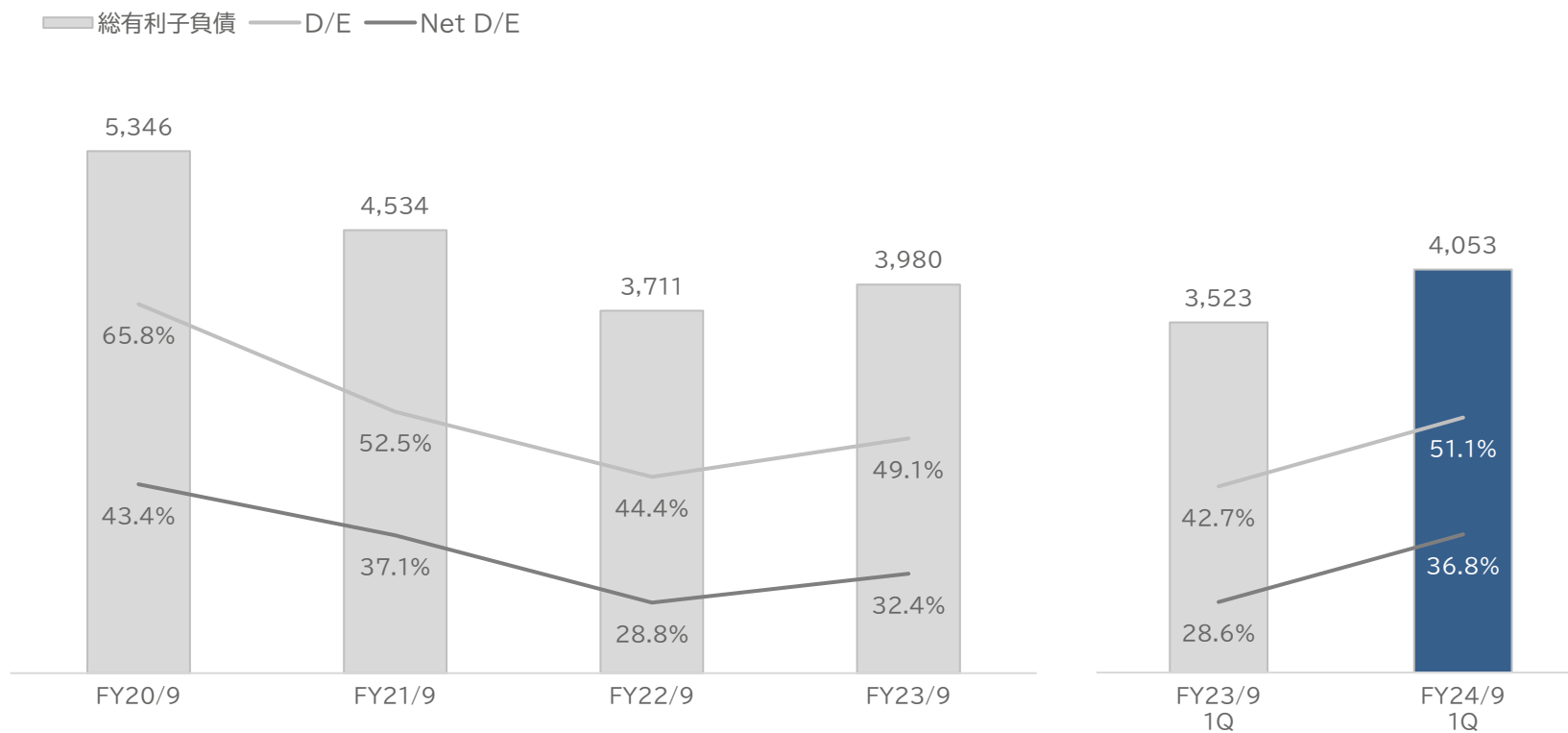
注: FY23/9に会計方針を見直し、施設に係る租税公課及び採用広告費を販売管理費から売上原価計上に変更。FY22/9以前は同様のベースに調整



財務健全性

2024年9月期第1四半期は、おはようキッズの完全子会社化による借入の影響により前年同期に比べ総有利子負債が増加。これに伴いD/Eレシオ、EBITDA有利子負債倍率は何れも上昇するも、引続き財務健全性は維持。

D/Eレシオ、総有利子負債(百万円)



新規事業

2023年9月期、「習いごと教室」における市場分析を経て、GlobalKids Plus+ 事業「体育あそび」のトライアルをスタート。今期はさらなる拡大を計画。「野外教育活動」においても新たな取組みを開始予定。

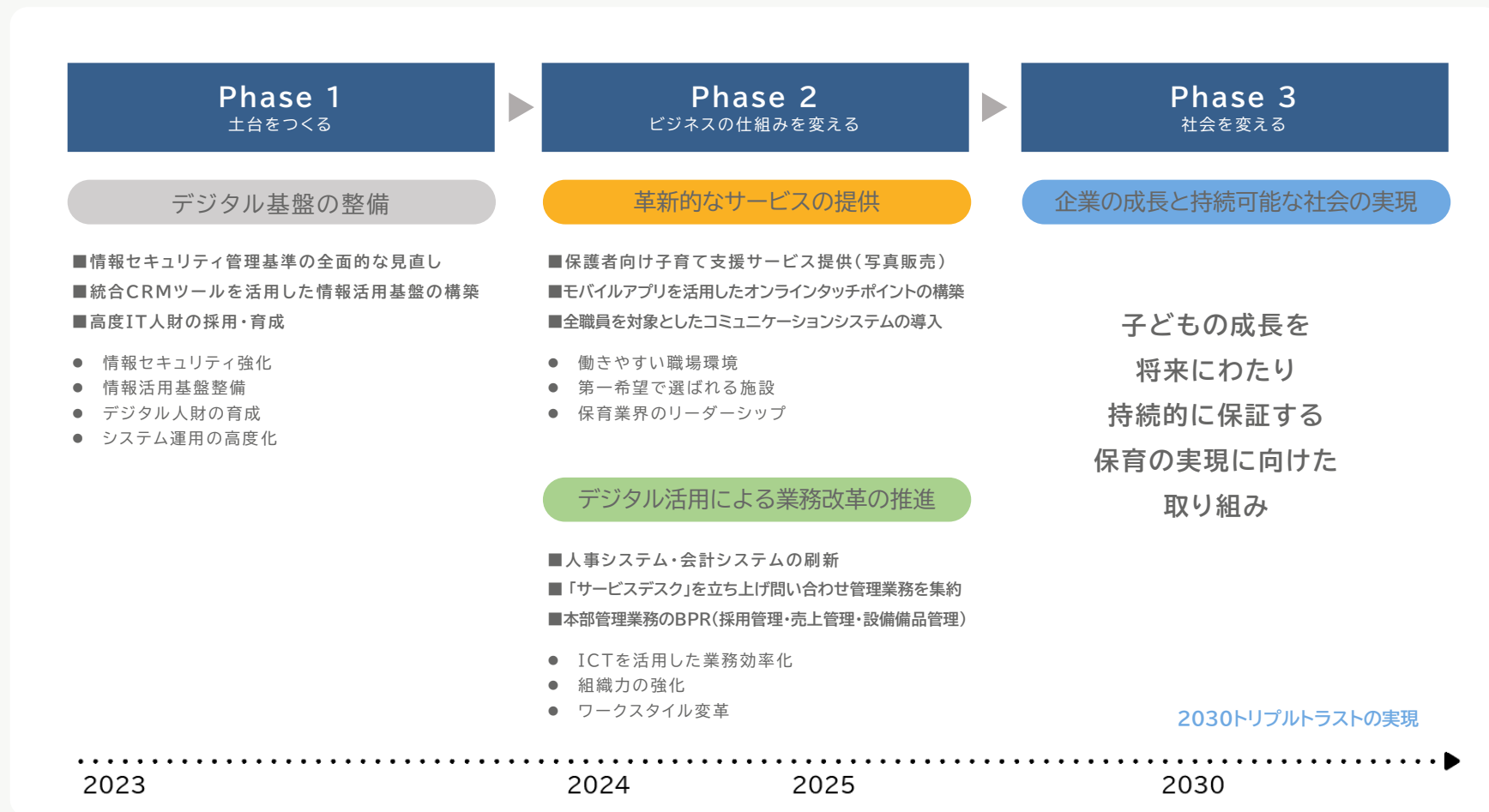


テーマ	取組内容	取組状況
GlobalKids Plus+	人気のコンテンツを提供	<ul style="list-style-type: none"> GlobalKids Plus+ 事業は飯田橋本社におけるニーズ分析を経て豊洲園と清澄白河園に開設。さらなる拡大を計画 GlobalKids独自の「体育あそび」を一部施設でトライアル開始。2024年9月期本格導入を予定
野外教育活動	農園の運営者、学校や自治体との連携	<ul style="list-style-type: none"> 秋田県能代市農家と提携し、安全でおいしい特別栽培米(農薬・化学肥料の窒素成分量が5割以下)の仕入れと一部施設での給食提供を開始 習いごと教室や農業活動と連動した野外教育活動を2024年9月期開始予定
海外(アジア)	シンガポールを中心に周辺国へ展開	「東京都認証保育所 グローバルキッズ南長崎園」をシンガポールの「Eis(イーズ) International Pre-School」と連携し、2024年4月にインターナショナルプレスクールとしてリニューアルオープン予定



ICT戦略

ICTを活用した業務品質・効率性の向上については予定通り進捗、今期さらにスコープを拡大。
保護者向けサービスの第一弾として、写真販売用モバイルアプリを開発、2024年4月より全園で利用開始予定。



ICT戦略：子育てプラットフォーム

市場の変化に柔軟に対応しつつ最新技術を取り入れていくことを可能にする Fit to Standard アプローチを採用。統合CRMプラットフォームツールのベストプラクティスを最大限有効活用し、業界トップレベルのICT活用を目指す。

デジタル基盤

従業員

従業員エンゲージメントの高い企業

- ナレッジ共有でばらつき解消
- 孤立せず施設同士で繋がる
- デジタル化による高い業務効率
- 子ども・保育者・保護者による気づき
- 学び合い

オンライン学習

コミュニケーションツール

社内情報ポータル

ナレッジマネジメント

保護者・園児

保護者と園児に選ばれる施設

- 各種手続きの簡便化
- 仕事と子育ての両立
- 子育てを楽しく快適に
- 子育ての不安や悩みの解消

モバイルアプリ

子育て支援サービス

コミュニティサイト

顧客情報一元管理

地域・行政

業界トップレベルのICT活用

- 持続可能な保育事業モデル
- 多施設マネジメント確立で生産性向上
- 保育GovTech推進・行政巻込
- システムでガバナンス強化

可視化・標準化による統制強化コミュニティサイト

同業他社への展開

データ活用による社会的価値の創出

地域イベント展開

子育てプラットフォーム

2024年9月期 業績見通し

2024年9月期 業績見通し

2024年9月期はおはようキッズの通期寄与等による増収、利用定員見直しや職員配置の適正化、採用費削減によりEBITDA増益を見込む。一方、一部施設の譲渡・閉鎖に伴う特別損失の計上見込みから当期純利益は190百万円を予想。配当はフリーキャッシュフローの増加を見込むも、配当性向水準を勘案し、前期配当と同じ1株当たり30円を計画。

(百万円)	FY2023/9 実績	FY2024/9 予想	前期比
売上高	25,136	26,000	+3.4%
EBITDA	1,150	1,300	+13.0%
営業利益	341	450	+31.9%
経常利益	321	480	+49.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	-55	190	-
1株当たり配当金	30円	30円	+0%

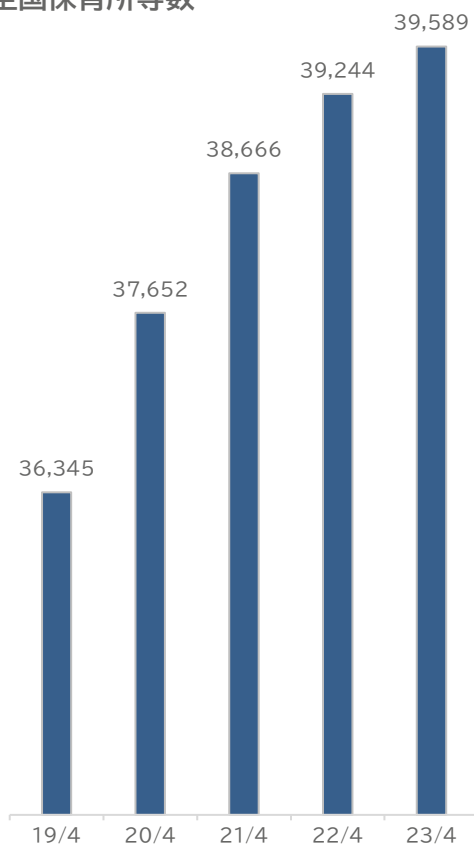
付属資料

運営施設数の内訳

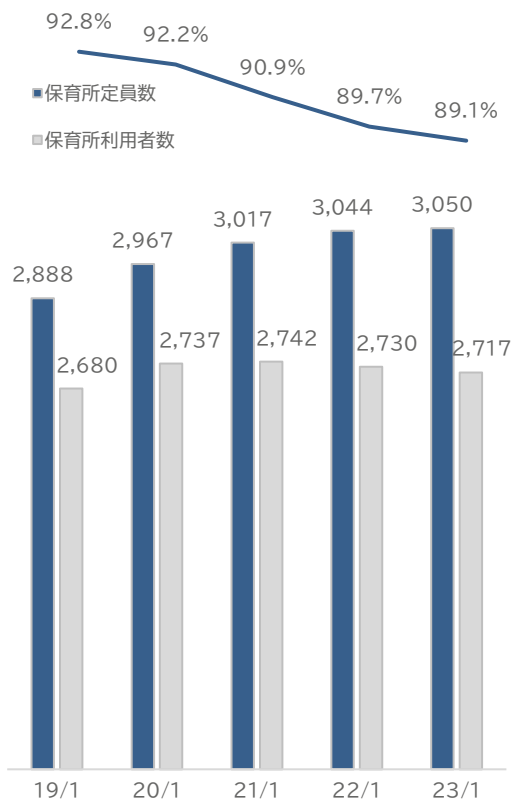
	FY15/9	FY16/9	FY17/9	FY18/9	FY19/9	FY20/9	FY21/9	FY22/9	FY23/9	FY24/9E
認可(東京都)	28	38	56	70	86	91	98	103	115	115
認可(神奈川県)	16	17	19	20	23	25	27	28	29	29
認可(その他)	3	5	6	8	9	9	10	10	10	5
東京都認証	21	22	20	20	17	17	16	15	15	4
認定こども園等	5	6	5	5	6	6	6	5	7	4
企業主導型	-	-	-	7	11	11	11	-	1	-
学童・児童館	10	11	12	12	13	13	12	10	11	11
児童発達支援	-	-	-	-	1	4	4	3	-	-
合計	83	99	118	142	166	176	184	174	188	168

保育所数、定員充足率、待機児童数

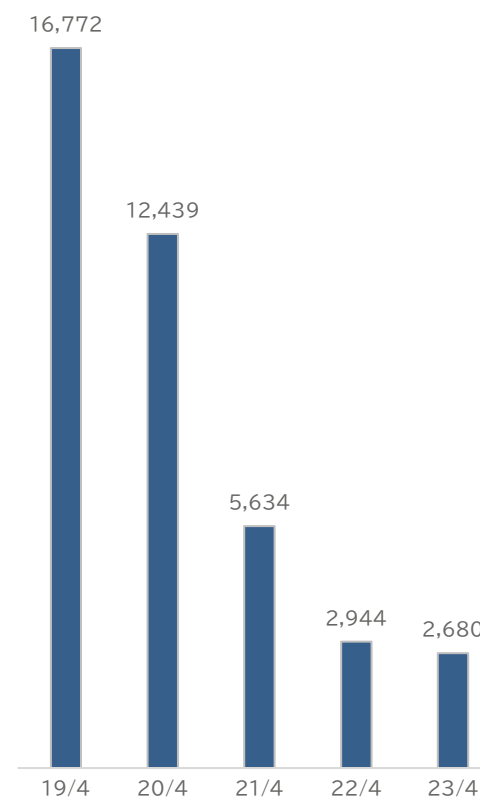
全国保育所等数



全国保育所の定員と利用状況(千人)



全国待機児童数(人)



保育サービス売上高ランキング

	社名	売上高(百万円)
1	JPホールディングス	35,507
2	ライク	29,047
3	こどもの森	26,304
4	グローバルキッズCOMPANY	25,136
5	ポピンズ	24,569
6	アイグラン	18,558
7	さくらさくプラス	13,844
8	HITOWAキッズライフ	12,217
9	テノ.ホールディングス	10,874
10	ソラスト	9,930

出所:日経MJ。当社、ライクは決算短信

注:当社、JPホールディングス、ライク、さくらさくプラスは、2023年に期末となる決算期の売上高。他社は、2022年に期末となる決算期の売上高

GlobalKids 